

ミニデイサービス便り

選んでくださったデイ

若くして脳梗塞で倒れられたAさんが、「まごころ」のデイサービスがいいと、選んで来てくださった。

介護保険対象者でいらっしゃるにもかかわらず、あえて助け合い活動のデイサービスを利用されている。

決して若い方々の集まりではないのに「どうしてですか」とおたずねしたら「楽しいから」とおっしゃってくださった。なるほど、62歳から90歳まで、実にいろんな個性の持ち主たちは、いつでもいい顔をしておられる。この顔に誘われて来ますという方もいらっしゃるから、Aさんもそう感じられたのでしょうか。

「笑うことがなくて能面のようなだったが、ここに来て変わった。嬉しいですよ」と言われた。

こんな会話は、参加者の皆さんの気持ちをも明るくする。お互いが自然に影響しあって、それぞれが満足されておられるようです。

互いの顔が分かりあえるのは、小さなデイサービスだからでしょうか。

ここでは、年齢も、新しい人も、古い人も関係なく、すぐに仲間。

先日、一人がピアノを弾きはじめられたら、次々弾かれた。とても弾かれないだろうと思っていたHさんから「わたしだってやりたいわさ」という言葉が出た。

早速、前にキーボードを置くと、ドレミの音階を弾かれて満足気に「いい音だね」。

ここでは、この言葉を聞き漏らす事もなく、みんなが直ぐに反応し拍手が送れた。

その距離の「近さ」がいいのでしょうか。小さな集まりだからできること。

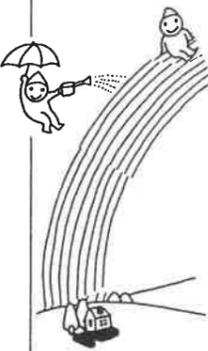
個性も尊重出来る。

ある方が、「まごころのミニデイサービスは、「デイサービス」ではなくて「デイケア」だね」と、おっしゃってくださった。

大きな意味だと思った。スタッフにも励ましをいただいたような気がした。

利用者さんに助けられてのデイサービスはいつになっても変わらない。

☆6月のデイサービスは次のとおりです
 保育園 6/7、21 事務所 6/14、28



お知らせ

第18回福祉映画祭

(6月15日～17日・東海テレビテレビピアホール)

最終日のご案内

映画とシンポジウムの集い

日時・6月17日(日) 午前10時30分～午後5時30分

- 内容・映画 ①「ビヨンドサイレンス」
(ろうの両親のための手話通訳からクラリネット奏者・音楽家の道へ)
 ②「新しいアプローチ」(自立する障害者の雇用問題)
 ③「突然妻が痴呆になった」
(52歳でアルツハイマー病を病んだ妻の介護のため仕事をやめた夫、その夫にガン宣告)

シンポジウム「介護最前線」

司会 児島美都子氏(日本福祉大学名誉教授)

ゲスト 井上啓子氏/宮本益治氏他

会費・1,000円

申込・「まごころ」でまとめます

6月の予定

- 1日(金) 会報「まごころ」発行
- 3日(日) 定例会 (場所・事務所)
- 4日(月) コーディネーター会議
- 譲ボランティア 岩本、楠
- 7日(木) ミニデイサービス (場所・事務所)
- 譲ボランティア 宮田、大橋
- 10日(日) NPO法人代表者会議
- 11日(月) コーディネーター会議
- 譲ボランティア 平子、鈴木
- 12日(火) NPO法人に関する税制上の優遇措置の概要説明会
- 13日(水) ミニデイ委員会
- 14日(木) ミニデイサービス (場所・保育園)
- 譲ボランティア 古田、石原
運営委員会
- 16日(土) ミニデイサービス (場所・事務所)
- 17日(日) 福祉映画祭 名古屋・テレビピアホール
映画とシンポジウム 「介護最前線」
- 18日(月) コーディネーター会議
- 譲ボランティア 谷、小川
- 21日(木) ミニデイサービス、ミニデイ定例会 (場所・事務所)
- 譲ボランティア 牧野、楠
- 22日(金) 小規模介護講座 (場所・貴船公民館)
- 25日(月) コーディネーター会議
- 譲ボランティア 岩田、川
- 27日(水) ミニデイ委員会
- 28日(木) ミニデイサービス (場所・保育園)
- 譲ボランティア 田中、倉知
理事会

協力会員	40人
利用会員	70人
賛助会員	126人
計	236人

在宅活動件数	25件
活動人数	21人
活動時間	266.5時間
ミニデイサービス利用者	56人
移送サービス利用件数	81人

訪問件数	45件
家事	452 時間
複合型	247 時間
身体	268.5 時間
合計	967.5 時間

7月の定例会は
 7月1日(日) 事務所 9時30分～12時30分
 ◆定例会 9時30分～10時30分
 ◆勉強会 10時30分～12時30分
 内容・「食品管理」について
 ケア先での買物、調理、管理方法などを学びます
 この日の午前のケアはお休みです
 利用者さんよろしくお願ひ致します

ある外科医の独り言

母と睡眠薬

高 勝義

医者はもちろんの事、多くの方々が睡眠薬の弊害については、よくご存じのことと思う。外来でも「先生あの薬がありませんから下さい。のんではいけないと思うのですが、どうしても眠れませんから。」という言葉をよく聞く。「そうですね、のまない方がいいに決まっていますが、眠れなければ仕方ないですね。」と、訳の分かったような分からぬようなことを言いながら、睡眠薬を出してしまうのである。

実を言うとわが母も例外ではない。睡眠薬の愛用者であったのだ。そして、この睡眠薬による副作用の経験者でもあった。

約二か月前のことである。何かの都合で歩けなくなり、入院することとなった。場所が変われば、夜、眠れないことは誰しも経験することである。高齢であり、眠りが浅いこともあろう、つい睡眠薬をもらってしまった。日がたつにつれ、だんだん言うこともやる事もおかしくなってしまうではないか。自分の親もいよいよ惚けてしまったか、そろそろ覚悟をしなくてはなるまいと思ったのだが、主治医の先生は静にしないでと、配慮したのである。さらに鎮静剤を追加してしまったのである。そして、今まで見たこともないような母になってしまったのである。どうもこれはおかしいと気がつき、精神科の先生に見てもらうことになった。

何と、母は老人ボケではなく、薬の副作用による錯乱状態であったのだ。指示に従い、鎮静剤、睡眠薬を全て中止したのであるが、薬が体から抜けきれぬのに約一ヶ月を要してしまった。睡眠薬の恐ろしさを正に教えられたのである。

今は、精神状態は正常になっているのであるが、毎日「眠れない。睡眠薬をくれ。」との、母の要求を鬼心仏心ではねつける毎日を送っているのである。(山下病院 院長)

楽しい静かなひとときを

ご案内 第8回一宮シティー室内管弦楽団定期演奏会

日時・7月1日(日) 午後1時30分開場
 午後2時00分開演

場所・愛知県一宮勤労福祉会館大ホール

主催・一宮シティー室内管弦楽団

曲目・モーツアルト/ティベルティメント第2番
 変ロ長調K137

モーツアルト/ヴァイオリン協奏曲第3番
 ト長調K216

ヘンデル/水上の音楽

指揮/水山宗己

ヴァイオリン独奏/坂田知香

入場料・1,000円

